

研究者・研究機関部門 セッションA

発表番号	所属機関名	発表者氏名	申請事業名
A-1	茨城大学 農学部 地域総合農学科	坂口 敦 【欠席】	畑作利用水田から河川への降雨流出および土壌と栄養塩流出の観測とモデル化
A-2	神戸大学 山梨大学	奥田 昇 岩田 智也 【代理発表】	流域生態系の栄養バランスを診断する安定同位体手法の開発
A-3	福岡県保健環境研究所	古閑 豊和	豪雨災害を想定した化学物質毒性スクリーニングのオンライン化の提案
A-4	宮崎大学	糠澤 桂	ダム連携通砂に伴う底生動物の短期的レスポンスの評価
A-5	国立大学法人東京海洋大学	田野入 開	河口生態系におけるマイクロプラスチックの汚染実態および動態の解明
A-6	島根大学	高原 輝彦 客野 瑞月 【代理発表】	環境RNA手法を用いた隠岐諸島の山地渓流河川に生息するオキサンショウウオの繁殖生態の解明
A-7	水産研究・教育機構 水産大学校	南條 楠土	塩性湿地は魚類を育む重要な生態系か？—湿地が支える魚類生産のしくみ—
A-8	佐賀大学	山西 博幸	季別運転による副次生成物の感潮域内輸送とその影響に関する研究
A-9	神戸大学大学院	中山 恵介 丸山 桃茄 【代理発表】	淡水湖沼における水草の二酸化炭素吸収量の定量解析
A-10	京都大学	西村 文武	小規模流域河川における薬剤耐性菌・薬剤耐性遺伝子の存在実態と排出ポテンシャルに関する基礎的研究
A-11	豊田工業高等専門学校	江端 一徳 【欠席】	火山山麓の酸性河川における酸供給機構の解明と酸性物質移動量推定モデルの開発
A-12	東京大学大学院新領域創成科学研究科	竹内 宏太	魚類の非致死的な安定同位体比測定を用いた食性および栄養状態の把握方法の開発
A-13	東京大学大学院農学生命科学研究科	前田 達彦	オオウナギにおける回帰能力の実態把握
A-14	土木研究所自然共生研究センター	岡本 聖矢	河川生態系における底生動物のエコロジー区分:特に水生昆虫類を対象として
A-15	正智深谷高等学校	亀山 典幸	マミズクラゲの遊離条件の解明と生息地調査
A-16	北海道大学大学院農学研究院	宮本 敏澄	腐朽菌を用いた低コストかつ近自然プロセスによる流木の断片化促進技術の開発
A-17	岩手大学	松林 由里子	流木の堆積、再移動条件の数値的評価
A-18	北海道大学	松永 隆正	広域水文指標に基づく融雪地すべり警戒指標の提案
A-19	富山県立大学工学部 環境・社会基盤工学部	久加 朋子	豪雨災害後における短期的な大規模樹林化プロセスの検討 —十勝川水系美生川を対象として—
A-20	新潟大学	金澤 伸一	豪雨時における河川堤防崩壊機構の構造的解明と性能評価手法の提案
A-21	富山県立大学	呉 修一	侵食破壊の事前予測に向けた複数指標・モデル・観測のマルチアンサンブル評価手法の開発
A-22	琉球大学教育学部	濱田 栄作	島嶼地域の実態を踏まえた河川教育プログラムの開発
A-23	九州大学大学院工学研究院	林 博徳	グリーンインフラとしての上西郷川の経済評価
A-24	日本河川教育学会	金沢 緑	東海地方を中心とした河川教育普及
A-25	土木研究所 寒地土木研究所	岩田 圭佑	石狩川水系忠別川で戦後計画的に整備された霞堤群の史的評価
A-26	神戸市立工業高等専門学校 都市工学科	今井 洋太	テスラバルブ構造に着目した耕作放棄水田の持続的管理手法の構築—兵庫県豊岡市田結川流域での流域治水の実践を目指して—

研究者・研究機関部門 セッションB

発表番号	所属機関名	発表者氏名	申請事業名
B-1	北海道大学 地球環境科学研究院 統合環境科学部門 自然環境保全分野	渡邊 彩	河川での微細有機物(FPOM)分解に生物的要因が与える影響の解明
B-2	関東学院大学	小室 隆	霞ヶ浦および流入河川における絶滅危惧種イシガイ類の変遷過程の解明
B-3	国立高等専門学校機構 香川高等専門学校	高橋 直己	ポータブル魚道による希少淡水魚アユモドキの遡上環境構築
B-4	東北大学大学院生命科学研究所 流域生態分野	宇野 裕美	遡上魚が河川河畔林生物群集に与える影響
	総合地球環境学研究所	大西 雄二 【代理発表】	
B-5	山形大学	西山 正晃	環境DNAを用いたサケ科魚類における在来種と外来種の判別手法の開発
B-6	森林総合研究所	小田 智基	森林流域における基岩地下水の硝酸イオン濃度形成機構と渓流水への流出影響評価
B-7	岐阜大学	勝田長貴	堆積物を用いた自然由来のヒ素溶出機構の解明による河川環境への影響評価
B-8	京都大学	三田村 啓理 【欠席】	都市河川におけるニホンウナギの護岸利用の評価
B-9	信州大学	東城 幸治	全国的に集団のメス化が進行する地理的単為生殖水生昆虫に関する進化生態調査
B-10	島根大学	瀬戸 浩二	斐伊川水系河口域の中海本庄水域における人為的環境変化と安定化過程に関する研究
B-11	信州大学	松本 卓也	野生動物による温泉利用:寒冷対策およびミネラル補給の可能性の検討
B-12	北海道大学	戴 秉国	見える・見えない不連続点の解消に伴う魚類群集の生息分布変化
B-13	諏訪湖環境研究センター	谷野 宏樹	狩野川水系を中心としたゲノムワイドマーカーによる水生昆虫の集団動態解析
B-14	京都府立福知山高等学校	藤田 浩	京都由良川水系「上林川」における固有生態系の検出とその保全策の発信
B-15	米原市立大東中学校	河地 誠	米原市の河川と三島池の環境・生物についての研究Part-3
B-16	佐賀大学	押川 英夫	嘉瀬川流域を対象とした低平地の洪水被害低減に向けた流域治水の検討
B-17	埼玉大学大学院	田中 規夫	河道管理研究推進・技術開発に向けたフィージビリティスタディー
	名古屋大学大学院工学研究科	戸田 祐嗣 【代理発表】	
B-18	兵庫県立大学	石須 慶一	ドローン空中電磁探査法を用いた河川堤防の脆弱部発見
A-19	応用生態工学会	占部 城太郎 八重樫 咲子 【代理発表】	公開シンポジウム「流砂系総合土砂管理と流域治水の最前線」の開催
B-20	岐阜大学	神谷 浩二	河川を水源にした農業用水の扇状地水田地域を介する地下水涵養効果
B-21	東京理科大学	二瓶 泰雄	水田・屋上貯留技術の検討と流域治水対策モデルの開発
B-22	兵庫県立大学環境人間学部	太田 尚孝 【欠席】	地方部の総合治水と生活環境の維持に向けた土地利用計画の理論と実践に関する研究:兵庫県加古川流域を事例に
B-23	明治大学	倉本宣	多摩川の礫河原と流域のあり方
B-24	産業技術総合研究所	田邊 晋	関東平野中央部の沖積低地における地形・遺跡情報の統合による過去4千年間の洪水履歴の解明
B-25	北海道大学	早川 裕弐	日本の滝の地理歴史景観にかかわる多層的情報統合基盤の構築

研究者・研究機関部門 セッションC

発表番号	所属機関名	発表者氏名	申請事業名
C-1	滋賀県立琵琶湖博物館	米田 一紀	ホンモロコをモデルとした琵琶湖の水位変化が仔魚加入に与える影響の解明
C-2	茨城大学	中里 亮治	帰還困難区域の山地溪流生態系における放射性セシウム移行メカニズムに関する研究
C-3	北海道大学	根岸 淳二郎	水温上昇緩和適応策に寄与する水温上昇抑制帯特定手法の開発
C-4	山梨大学	岩田 智也	駿河湾に流入する濁水の発生源究明と富士川下流の生物多様性影響評価
C-5	九州工業大学大学院	鬼束 幸樹	組織乱流理論を駆使したニホンウナギの遡上率向上が可能な階段式魚道の改修工法の開発
C-6	岐阜大学	永山 滋也	耳石ストロンチウム同位体比で暴クアユの流域内生息場所利用の履歴
C-7	茨城大学	西澤 智康	霞ヶ浦流域生態系における薬剤耐性菌の分布および動態の解明
C-8	富山県立大学	三小田 憲史	蛍光成分の河川動態と下水マーカーとしての利用可能性
C-9	近畿大学	松井 一彰	都市河川と下水における薬剤耐性大腸菌群動態の比較評価
C-10	琉球大学	加藤 三歩 【欠席】	河川環境と左右対称性のゆらぎ:保全への応用に関する研究
C-11	東北大学	保尊 大志	核SSRマーカーを用いたカワラハハコの集団維持機構の推定
C-12	信州大学大学院総合医理工学研究科	鈴木 啓久	河川源流域に生息する水生生物の遺伝構造からみる源流生態系保全のあり方
C-13	兵庫県立大学	松田 裕太	オオサンショウウオの繁殖巣穴の物理環境及び形状特性に関する研究
C-14	愛知県立佐屋高等学校	川合 良司	水田農法の違いが用水路の水生昆虫に与える影響
C-15	筑波大学	武若 聡	天竜川河口域の河道・河口砂州・河口テラス動態の確率的評価
C-16	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	木村 一郎	ワンド型流木捕捉工最適化に向けての設計手法の確立
C-17	静岡大学	高山 翔揮	狭窄部を通る泥流の流動過程解明と予測手法構築
C-18	土木学会 堤防研究小委員会	前田 健一	河川堤防のFailure Pathを踏まえた粘り強さと安全性の評価技術の向上と堤防情報のあり方:堤防工学の構築に向けて
		石田 正利 【代理発表】	
C-19	岐阜大学	吉村 英人	観測データおよび数値計算に基づく風が観測流量の推定精度に与える影響の評価
C-20	福岡工業大学	田井 明	河砂覆砂による緑川河口干潟の環境改善手法確立のための実践的研究
C-21	豊橋技術科学大学	豊田 将也	防災および環境に配慮した中小河川における適切な植生管理手法の提案
C-22	日本薬科大学	和田 重雄	化学物質の水環境への影響を自分ごととして観察・考察できる実験教材の開発と教育実践
C-23	鹿児島大学 法文学部附属 「鹿児島近現代」教育研究センター	伴野 文亮	「自然災害科学研究」の視座から取り組む金原明善による天竜川治水実践の学際的研究
C-24	大同大学	鷲見 哲也	「わたしの川づくり」に向けた河川情報のローカル化
C-25	兵庫教育大学	山本将也	溪流沿い植物ショウゲの保全遺伝学的研究に基づく河川教育教材の開発:遺伝学と教育学を架橋した新たな河川教育